日本史籍講読8－Ⅳ

科目ナンバリング　JPH-416
選択必修　　2単位

髙杉　洋平

1. 授業の概要（ねらい）

歴史を専門的に勉強する上で、史料の読解能力は是非とも身に付ける必要のある技術です。この授業ではその能力を錬成します。不安のある人もいるでしょうが、必ず読めるようになります。
また、この授業では単なる史料読解能力以外にも、人前で発表したり、意見を交換したり（議論というよりはおしゃべり）する能力の錬成も目指したいと思います。
いずれにせよ、皆さんの主体的参加意欲が重要です。張り切って授業に参加してください。

2. 授業の到達目標

①日本近現代史の史料を正しく読み、その意味を理解できる。
②発表・討議の能力を向上する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

配布した史料を読み、分からない語句などを調べておく。

6. その他履修上の注意事項

予習復習が大事です。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第3回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第4回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第5回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第6回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第7回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第8回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第9回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第10回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第11回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第12回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第13回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第14回】　日本近現代史の史料を読む（発表・輪読）
【第15回】　まとめ・補足（LMS）